



# 月刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.10.26 No. 4085

## 二度と侵略戦争の誤ちをくり返すな!

# 戦時と大衆時代に花を 新たな潮流を! 都天職

### 10.21 国際反戦日

### 想天候ついで、250名宮下公園



一〇・二一国際反戦デー、全国統一闘争は、今日の政治・社会情勢をそのまま反映しているかのような悪天候の中で闘われた。一日の労働を終え二五〇名の仲間が渋谷の宮下公園に結集、三里塚からも北原事務局長が駆け付け、決意が述べられる。労働者づらをして、自民党と一緒に民衆を戦争と暗黒政治に引き込もうとする村山政権に激しい弾劾がたたきつけられた。

集会では、動労千葉を代表して山田交渉部長が発言にたち「今日の政治反動を断ち、闘う新」

たな潮流を形成するために、四月地方選では水野、中江両氏をおし立て闘う」という発言に、会場全体から「ヨシー」「がんばれ」といった大きな声援が送られた。

基調報告をはじめ、多くの発言者には、厳しい情勢にたちむかい、労働者の明日の活路を切り開くという心意気を感じられ、それは集会後のデモにも反映していった。

渋谷駅頭は、金曜日の夜とあって黒山の人だかりである。その下真ん中をボリームいっぱい「労働者を裏切る・村山政権打倒」「朝鮮侵略戦争阻止」「交流センターはたたかうぞ」の力強いシュプレヒコールをくりかえす。沿道から拍手や声援もおこる。

デモの中で感じたことは、今だからこそもっともつとデモにたち、集会を開き、訴えられるときに訴えきること。つらくとも闘いを継続し、一人でも多くに呼び掛けることだということである。

## 情勢も変わる。ゆえに人も変わる。

村山政権は、足下から揺らいでいる。二十日の日教組中央委員会では、執行部の腹づもりとは逆に、現場の怒りを無視できず「日の丸、君が代の強制反対」「消費税率の引き上げ反対」の

方針を決定せざるえなかった。この一例を見るまでもなく、現場労働者は、まだまだ正義の感覚を失ってはいないのである。明確な闘いの方向と進路が示されるなら、困難をのりこえて必ず立ち上がる。このことを確信した「十・二一」でもあった

集会では、十一・二〇全国反戦集会では、日比谷野音に、この間の数倍上回る大結集をかちとることを誓いあった。

数は力なり。今求められているのは、一人でも多くの人々が、

さしせまる朝鮮侵略戦争の危機を認識し、「戦争反対」の声を発すること。首切り、合理化反対と戦争反対のたたかいはある意味では一体であり、労働者民衆はそのことを求めているのである。

がんばれば情勢も、人も、自分も変わることを「九・一八集会」でつかんできた。このことを教訓にして、十一・二〇全国集会を九十五年、九十年代後期の勝利にむけた一大突破口としよう。

## 11月3日 9:00 開会



### 篠公園 クラウド

## 団結祭典

### ※家族そろってご参加下さい。

反戦・反核を担う労働運動を!